

ふるさとふちゅう

【第20回】府中町で体験、四国お遍路（5）

道隆寺（3）道隆寺と伊勢伝説

再発見

道隆寺に関する伝説として伊勢という女性の話があり、記録として残されたものが3点あります。まず、宝永7（1710）年の銘がある道隆寺に伝えられる「安芸国府道隆寺本尊略縁起」の版本、次に安政4（1857）年の二宮五礼が記した「芸備名取合」という書物の「道隆寺傘」の記載、最後に昭和7年に刊行された菅原守編纂の『芸州府中荘誌』にある前住職の「縁起口伝書」です。いずれも昭和46年発行の『安芸府中の文化第5集』に紹介されています。3点は、語り口や詳細な事柄には違いがありますが大筋は次の通りです。

いまま雨の中で農作業をしたが伊勢の体は濡れることがなかった。その後、伊勢は近郊で一番の美しい女性に成長、都に上り、時の摂政関白藤原道隆に愛されるようになった。ある日、悲しそうな表情の伊勢を見て道隆が「一つ願いを聞いてやろう」と言うと、伊勢は「自分の故郷の薬師如来様の堂宇が荒れ果てている。この堂宇を建てて欲しい」と願った。道隆は「そこは自分の領地であるので、容易いこと」として、三年の歳月をかけて、八丁四方に七堂伽藍を建立し、寺名を道隆寺とした。寺領として1000石を寄付し、安芸国一の総祈願所となった。伊勢はとても喜んだ。

『芸備名取合』、「縁起口伝書」では、この伊勢は小倉百人一首19番の作者、伊勢であるとしています。これには無理があります。この話は平安時代のことですが、文字とし



歴史民俗資料館にある「お伊勢さんと道隆寺」

て残されている3点はすべて江戸時代以後にまとめられたものです。そのまますべてを信じるのも難しいことです。ただ、伝説の真偽は別にして、厚い信仰心を持ち、利他の行いをした人が救われ、仏や故郷に報いるという話が、江戸時代の人々の心をとらえ、道隆寺という実在の寺院の話として語られ続けてきたのでしょう。

歴史民俗資料館では、階段の踊り場に府中町の昔話が9点紹介されています。この伊勢の話もありますので、ぜひ一度ご覧ください。

菅 信博

パッとカンタン！

朝パッ君のかんたんレシピ

健康推進課 ☎286-3257

包丁いらず！ ホワイト麻婆豆腐

牛乳を入れると、カルシウムが取れるし、コクがでて美味しいよ！



みじん切りしたにんにく・しょうがを使うと、より本格的な味になります♪



レシピ提供：健康推進課

材料（4人分）

- ・豆腐 : 1丁
- ・豚ひき肉 : 100g
- ・青ねぎ : 40g
- ・にんにく : チューブ2、3cm
- ・しょうが : チューブ4、5cm
- ・油 : 大さじ1
- ・牛乳 : 200ml
- ・酒 : 大さじ1
- ・中華スープの素 : 小さじ2 } A
- ・片栗粉 : 小さじ2
- ・水 : 大さじ1と1/2 } B
- ・塩 : 少々
- ・白すりごま : 大さじ1/2
- ・ラー油 : 適宜

作り方

- ①青ねぎをはさみで小口切りにする。
- ②フライパンに油を熱し、にんにく、しょうがを入れ、香りが出たらひき肉を加える。肉の色が変わったら、Aを加える。
- ③豆腐を食べやすい大きさにちぎりながら、加える。
- ④牛乳を加え、ひと煮立ちしたら、塩で味をととのえ、①を加える。
- ⑤Bを加えてとろみをつける。
- ⑥器に盛り付け、すりごまとお好みでラー油をかける。